



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所

東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 竹森 征之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 竹生 昭彦

(TEL) 03-6739-3711

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	296,097	3.5	12,512	△44.1	14,214	△42.5	10,206	△42.5	8,850	△48.3	20,368	△16.1
2022年12月期第3四半期	286,141	6.9	22,396	△12.1	24,709	△10.7	17,756	△12.6	17,107	△10.1	24,268	10.8

(注) 事業利益 2023年12月期第3四半期 12,604百万円 (△26.8%) 2022年12月期第3四半期 17,225百万円 (△32.2%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	31.12	31.08
2022年12月期第3四半期	60.04	59.93

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	478,885	291,825	274,840	57.4
2022年12月期	469,278	279,168	264,255	56.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2023年12月期	—	13.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	5.2	25,000	△13.3	17,500	△20.2	61.45

(注) 1. 事業利益 通期 25,000百万円

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	292,536,446株	2022年12月期	292,536,446株
2023年12月期3Q	8,074,860株	2022年12月期	8,304,250株
2023年12月期3Q	284,388,406株	2022年12月期3Q	284,940,705株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高2,960億9千7百万円（前年同期比3.5%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比1.5%増）、事業利益126億4百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益125億1千2百万円（同44.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益88億5千万円（同48.3%減）となりました。

当社グループは、前年度よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「<sup>ビジョン</sup>Vision 2030 <sup>ファースト</sup>1st <sup>ステージ</sup>STAGE」の3つの成長戦略である、「4つの提供価値領域における成長加速」、「成長に向けた事業基盤への変革」、「変革を実現するダイナミズムの創出」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、柔軟剤、洗濯用洗剤等で高付加価値の新製品を投入するとともに、主力ブランドの育成に取り組みました。海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野の拡大に注力し、加えて、新たな成長起点の創出に向けてベトナムのヘルスケア企業に資本参加しました。

## 【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	296,097		286,141		9,955	3.5%
事業利益	12,604	4.3%	17,225	6.0%	△4,621	△26.8%
営業利益	12,512	4.2%	22,396	7.8%	△9,884	△44.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	8,850	3.0%	17,107	6.0%	△8,256	△48.3%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

(注) 前年同期の営業利益には、連結子会社が所有していた土地の譲渡益が含まれています。(2022年1月31日付譲渡)

## 【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益 (事業利益)			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	196,519	193,009	3,509	1.8%	3,082	8,972	△5,890	△65.6%
産業用品事業	42,713	42,333	379	0.9%	2,513	2,396	117	4.9%
海外事業	109,637	96,267	13,369	13.9%	5,975	3,358	2,616	77.9%
その他	15,535	11,287	4,247	37.6%	934	867	66	7.7%
小計	364,404	342,898	21,506	6.3%	12,505	15,595	△3,089	△19.8%
調整額	△68,307	△56,756	△11,550	—	98	1,630	△1,531	—
合計	296,097	286,141	9,955	3.5%	12,604	17,225	△4,621	△26.8%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

### ＜一般用消費財事業＞

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比1.8%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比65.6%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	196,519		193,009		3,509	1.8%
セグメント利益	3,082	1.6%	8,972	4.6%	△5,890	△65.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では29,077百万円、前第3四半期では25,698百万円となっております。

### 〔売上高の分野別状況〕

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	51,892	52,043	△150	△0.3%
ビューティケア分野	18,006	19,805	△1,799	△9.1%
ファブリックケア分野	46,669	43,934	2,734	6.2%
リビングケア分野	15,801	17,068	△1,266	△7.4%
薬品分野	18,931	17,912	1,019	5.7%
その他の分野	45,217	42,244	2,972	7.0%

#### (オーラルケア分野)

当分野は、「ハミガキ」、「ハブラシ」、「デンタルリンス」等で構成されています。

ハミガキは、「クリニカ<sup>プロ</sup>ハミガキ」や「NONIO<sup>ノニオ</sup>プラスホワイトニングハミガキ」が好調に推移しましたが、一部ブランドにおいて販売促進の内容を見直したことから、全体の売上は前年同期を下回りました。

ハブラシは、新製品「LION<sup>ライオン</sup>電動アシストブラシ」を発売するとともに、ブラシ部にラバー素材を採用した新製品「クリニカ<sup>プロ</sup>ハブラシラバーヘッド」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、「NONIO<sup>ノニオ</sup>マウスウォッシュ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比0.3%の減少となりました。

#### (ビューティケア分野)

当分野は、「ハンドソープ」、「ボディソープ」、「制汗剤」等で構成されています。

ハンドソープは、市場縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

ボディソープは、「hadakara<sup>ハダカラ</sup>ボディソープ泡で出てくるタイプ」が順調に推移したものの、液体タイプが前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比9.1%の減少となりました。

**(ファブリックケア分野)**

当分野は、「柔軟剤」、「洗濯用洗剤」等で構成されています。

柔軟剤は、「ソフラン プレミアム消臭」が前年同期を下回りましたが、新製品「ソフラン エアリス」を発売し、全体の売上は前年同期を上回りました。

洗濯用洗剤は、高い洗浄・消臭力と衣類本来の色を保つ機能を両立させた液体高濃度洗剤の新製品「<sup>ナノックス</sup> <sup>ソフラン</sup> NANOX one」を発売し、全体の売上は前年同期を上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比6.2%の増加となりました。

**(リビングケア分野)**

当分野は、「住居用洗剤」、「台所用洗剤」等で構成されています。

住居用洗剤は、「ルックプラス バスタブクレンジング」等が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

台所用洗剤は、「<sup>チャーミーマジカ</sup> CHARMY Magica」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微減となりました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比7.4%の減少となりました。

**(薬品分野)**

当分野は、「解熱鎮痛薬」、「点眼剤」、「ニキビ薬」等で構成されています。

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム <sup>ディーエックス</sup> D X」が好調に推移しましたが、「バファリン プレミアム」、「バファリンA」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期比微減となりました。

点眼剤は、「スマイル40ゴールド」シリーズが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ニキビ薬は、「ペアアクネクリームW」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

足用冷却シートは、インバウンド需要の回復により前年同期を大幅に上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比5.7%の増加となりました。

**(その他の分野)**

当分野は、ペット用品、ギフト・ノベルティ、歯科ルート品等で構成されています。

ペット用品は、オーラルケア品が好調に推移するとともに、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ギフト・ノベルティは、ノベルティが増収となり、全体の売上も前年同期を上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比7.0%の増加となりました。

### <産業用品事業>

当事業は、タイヤ用ゴムの防着剤等を取り扱う「モビリティ分野」、二次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比0.9%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比4.9%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	42,713		42,333		379	0.9%
セグメント利益	2,513	5.9%	2,396	5.7%	117	4.9%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では14,520百万円、前第3四半期では14,650百万円となっております。

モビリティ分野では、タイヤ用ゴムの防着剤が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。エレクトロニクス分野では、二次電池用導電性カーボンが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

業務用洗浄剤分野では、ハンドソープが前年同期を下回りましたが、衣料用洗剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

### <海外事業>

海外は、タイ、マレーシア等の東南・南アジア、中国、韓国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比13.9%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は7.4%の増加)となりました。セグメント利益は、前年同期比77.9%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	109,637		96,267		13,369	13.9%
セグメント利益	5,975	5.4%	3,358	3.5%	2,616	77.9%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では10,454百万円、前第3四半期では8,159百万円となっております。

### [地域別状況]

(単位：百万円)

		当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南・南アジア	売上高	66,874	61,108	5,766	9.4%
	セグメント利益	3,409	1,485	1,923	129.5%
北東アジア	売上高	42,762	35,159	7,602	21.6%
	セグメント利益	2,565	1,873	692	37.0%

(注)前期にバングラデシュ人民共和国に合弁会社を設立したことから、従来の「東南アジア」の表記を「東南・南アジア」に変更しております。

#### (地域別の状況)

東南・南アジア全体の売上高は、前年同期比9.4%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は1.7%の増加)、セグメント利益は129.5%の増加となりました。

タイでは、ボディソープ「植物物語」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤が前年同期を上回り、円貨換算後の全体の売上も前年同期を上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比21.6%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比は17.4%の増加）、セグメント利益は37.0%の増加となりました。

中国では、ハミガキ「ホワイト&ホワイト」、ハブラシ「システム」がともに好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、韓国では、洗濯用洗剤が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

### <その他>（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	15,535		11,287		4,247	37.6%
セグメント利益	934	6.0%	867	7.7%	66	7.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では14,254百万円、前第3四半期では8,230百万円となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

### 当四半期における資産、負債および資本の状況 (連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増減
資産合計（百万円）	478,885	469,278	9,606
資本合計（百万円）	291,825	279,168	12,657
親会社所有者帰属持分比率（%）	57.4	56.3	1.1

資産合計は、持分法で会計処理されている投資の増加等により、前連結会計年度末と比較して96億6百万円増加し、4,788億8千5百万円となりました。資本合計は、126億5千7百万円増加し、2,918億2千5百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は57.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	101,078	73,836
営業債権及びその他の債権	71,263	77,630
棚卸資産	53,909	59,942
その他の金融資産	7,977	11,327
その他の流動資産	3,462	4,294
小計	237,691	227,032
売却目的で保有する資産	—	183
流動資産合計	237,691	227,216
非流動資産		
有形固定資産	130,137	138,392
のれん	327	327
無形資産	23,917	22,884
使用権資産	31,518	31,694
持分法で会計処理されている 投資	8,939	18,021
繰延税金資産	3,912	4,486
退職給付に係る資産	9,147	10,162
その他の金融資産	22,856	24,546
その他の非流動資産	831	1,152
非流動資産合計	231,587	251,669
資産合計	469,278	478,885

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	126,024	125,145
借入金	1,433	298
未払法人所得税等	2,182	2,185
引当金	1,444	2,668
リース負債	1,746	2,108
その他の金融負債	1,681	994
その他の流動負債	7,061	7,754
流動負債合計	141,574	141,154
非流動負債		
借入金	141	—
繰延税金負債	2,701	5,016
退職給付に係る負債	10,431	6,057
引当金	2,058	2,040
リース負債	28,849	28,434
その他の金融負債	2,378	2,385
その他の非流動負債	1,974	1,971
非流動負債合計	48,536	45,905
負債合計	190,110	187,059
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,069	31,095
自己株式	△8,056	△7,867
その他の資本の構成要素	13,966	19,229
利益剰余金	192,842	197,950
親会社の所有者に帰属する 持分合計	264,255	274,840
非支配持分	14,912	16,985
資本合計	279,168	291,825
負債及び資本合計	469,278	478,885

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	286,141	296,097
売上原価	△158,476	△164,748
売上総利益	127,664	131,348
販売費及び一般管理費	△110,439	△118,744
その他の収益	6,207	1,064
その他の費用	△1,036	△1,156
営業利益	22,396	12,512
金融収益	896	967
金融費用	△95	△622
持分法による投資利益	1,511	1,356
税引前四半期利益	24,709	14,214
法人所得税費用	△6,952	△4,007
四半期利益	17,756	10,206
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,107	8,850
非支配持分	648	1,356
四半期利益	17,756	10,206
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	60.04	31.12
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	59.93	31.08

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	17,756	10,206
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	550	1,226
確定給付型退職給付制度の再測定額	△1,470	3,323
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	10	△13
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△909	4,536
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	16	40
在外営業活動体の換算差額	7,405	5,583
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	7,422	5,624
税引後その他の包括利益合計	6,512	10,161
四半期包括利益	24,268	20,368
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,067	17,900
非支配持分	2,201	2,467
四半期包括利益	24,268	20,368

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2022年1月1日残高	34,433	35,189	△4,731	135	8,541	—
四半期利益						
その他の包括利益					509	△1,470
四半期包括利益合計	—	—	—	—	509	△1,470
配当金						
自己株式の取得			△10,001			
自己株式の処分		1	46	△12		
自己株式の消却		△4,259	6,630			
株式報酬取引		27				
連結範囲の変動						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△269	1,470
所有者との取引額等合計	—	△4,229	△3,324	△12	△269	1,470
2022年9月30日残高	34,433	30,960	△8,056	123	8,781	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2022年1月1日残高	—	634	9,311	177,370	251,572	13,442	265,014	
四半期利益			—	17,107	17,107	648	17,756	
その他の包括利益	16	5,902	4,959		4,959	1,552	6,512	
四半期包括利益合計	16	5,902	4,959	17,107	22,067	2,201	24,268	
配当金			—	△6,899	△6,899	△1,093	△7,992	
自己株式の取得			—		△10,001		△10,001	
自己株式の処分			△12		35		35	
自己株式の消却			—	△2,371	—		—	
株式報酬取引			—		27		27	
連結範囲の変動			—		—	25	25	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,201	△1,201	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	1,188	△10,472	△16,837	△1,067	△17,904	
2022年9月30日残高	16	6,537	15,459	184,005	256,802	14,576	271,378	

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2023年1月1日残高	34,433	31,069	△8,056	123	8,930	—
四半期利益 その他の包括利益					1,203	3,323
四半期包括利益合計	—	—	—	—	1,203	3,323
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		25	△0 189	△73		△3,323
所有者との取引額等合計	—	25	188	△73	△389	△3,323
2023年9月30日残高	34,433	31,095	△7,867	50	9,744	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2023年1月1日残高	△42	4,953	13,966	192,842	264,255	14,912	279,168	
四半期利益 その他の包括利益	40	4,481	9,049	8,850	9,049	1,111	10,161	
四半期包括利益合計	40	4,481	9,049	8,850	17,900	2,467	20,368	
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			— △73	△7,393 △63	△7,393 53	△553	△7,946 53	
所有者との取引額等合計	—	—	△3,785	△3,743	△7,314	158	158	
2023年9月30日残高	△1	9,435	19,229	197,950	274,840	△395	291,825	

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

## ① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品、機能性食品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、栄養ドリンク剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

## ② 産業用品事業

主に日本において、化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っており、海外諸地域への製造販売および売買も含まれます。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤

## ③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本において当社の子会社が、主に当社グループ内の建設請負、不動産管理、人材派遣等を行っております。

## (2) 報告セグメントの売上高および業績

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	167,310	27,683	88,108	3,057	286,160	△18	286,141
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	25,698	14,650	8,159	8,230	56,738	△56,738	—
計	193,009	42,333	96,267	11,287	342,898	△56,756	286,141
事業利益	8,972	2,396	3,358	867	15,595	1,630	17,225
その他の収益							6,207
その他の費用							△1,036
営業利益							22,396
金融収益							896
金融費用							△95
持分法による投資利益							1,511
税引前四半期利益							24,709

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額 1,630百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益 127,664百万円

販売費及び一般管理費 △110,439百万円

事業利益 17,225百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	167,441	28,193	99,182	1,280	296,097	—	296,097
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	29,077	14,520	10,454	14,254	68,307	△68,307	—
計	196,519	42,713	109,637	15,535	364,404	△68,307	296,097
事業利益	3,082	2,513	5,975	934	12,505	98	12,604
その他の収益							1,064
その他の費用							△1,156
営業利益							12,512
金融収益							967
金融費用							△622
持分法による投資利益							1,356
税引前四半期利益							14,214

- (注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。  
 2 事業利益の調整額 98百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。  
 3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	131,348百万円
販売費及び一般管理費	△118,744百万円
事業利益	12,604百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。